

LIVES“住み継ぐ家“



荒井 ひかる
建築設計計画研究室

概要

住所：神奈川県横浜市内
敷地面積：86.01 m²
構造：築 20 年の木造 2 階建て

□コンセプト

祖母と暮らすためのリノベーションとその後の世代の暮らし方。
一人暮らしをする事が困難になりつつある祖母が自分の家で共に生活をするためのリノベーションと、祖母が亡くなって以降の世代が同じ家に住み継いでいくためのプランの提案。この提案により、「介護疲れによるトラブル」の軽減と、「家族」とは何なのかについて自分なりの答えを出すことを目的とする。



□プログラム

今回は 3 世代が住み継ぐことを仮定し、3 つのプラン(Case1~Case3)にまとめた。
Case1 では『祖母と共に暮らす』、Case2 では『親と兄世帯の二世帯住宅』、Case3 では『“集まる住宅”』というテーマで設計した。それぞれ 10 年ほどのスパンを仮定して、それぞれの世代に適した住宅の設計をしている。尚、残せる限りの構造壁と柱はそのままの状態を活用することで『住み継いでいく』イメージを明確にしている。



□デザイン

Case1 では和室の位置がポイントとなっている。通常要介護の老人を在宅介護で見守る際、主な生活スペースとなる場所を家の奥側に配置するが、祖母は人と接する事が好きという事もあり、敢えて外側に配置している。Case2 では、狭い敷地であることを利用し『部屋』という考え方ではなく『スペース』という空間の考え方で設計した。Case3 では、子どもの成長に合わせた『個』の空間と『集まる』空間が混合された設計になっている。



